

## 令和7年度第3回県南西部地域医療構想調整会議 議事概要

日時：令和8年2月26日（木）15：00～16：00

場所：備中県民局会議棟 1階会議室

### 1 開会

#### 【事務局より伝達】

新たに川崎医科大学附属病院 永井敦病院長、倉敷中央病院 寺井章人院長の2名に委員に就任いただき、委員数は2名増の35名となった。

### 2 備中保健所長挨拶

### 3 議事（議事進行：荒木議長）

#### （1）国・県の動向について …資料1-①、1-②、1-③

岡山県医療推進課から説明。

（主な意見・質問等）

#### 【委員】

国の新しい地域医療構想とりまとめ（案）に介護関係の記述が増えていることは評価できるが、記述されているのは老人保健施設（老健）のことだけである。はるかにベッド数の多い特別養護老人ホーム（特養）や、サービス付き高齢者住宅（サ高住）のことも含めて把握し、議論することが望ましい。特養団体の代表者にも当会議の委員として加わっていただくことを検討してほしい。

#### 【備中保健所長】

介護施設と医療との連携の重要性は認識している。当会議においても介護老人福祉施設（特養）の代表など、新しい地域医療構想を検討するためのメンバー構成は再検証する。介護施設の医療ニーズの正確な推計は難しいが、委員の意見も踏まえつつ議論をすすめていく。

#### 【委員】

高齢者救急について。何歳以上は高齢者救急とか、介護保険施設など主に高齢者が入所している施設から搬送されたら高齢者救急に該当するとかいうような、高齢者救急に関する定義があるのか。

#### 【医療推進課】

国の第11回検討会でも、高齢者救急を年齢で区切るべきではないという意見が出されていた。現在、厚労省が検討している。

#### （2）笠岡市立市民病院に関すること

##### ①新病院建設事業の再検討の経緯と現状について[報告]…資料2-①

笠岡市立市民病院から説明。

新病院建替えについて、現在の99床規模での建設では、その後の運営は難しく、持続可能な病院経営を行うために、再検討が必要との判断に至った。福山市民病院との機能分化・連携強化の取組は継続しつつ、病床数を含めた見直しを再検討会議にて行う。再検討会議の結果をふまえ、今後のあり方について笠岡市において決定していく。

なお、笠岡市立市民病院の今後のあり方が決定したら、この場（当会議）で改めて説明させていただきます。

委員から、特に意見や質問等なし。

②経営強化プランの改定について[協議]…資料2-②

笠岡市立市民病院から説明。

これまでの経営強化プランは建替えを前提としていたが、建替え再検討にあたり経営強化プランも見直す。とはいえ、再検討会議にて公立医療機関としての役割と方向性について検討中であり、方向性は決まっておらず、このたびの改正では、建替えに関する箇所の字句訂正と各所数値を直近の実績をもとに修正したものである。

委員から、特に意見や質問等なし。了承された。

(3) 医療機関の病床廃止について 【※非公開】

委員から、特に意見や質問等なし。了承された。

---

以上